

第2次環境基本計画前期計画 進捗状況（令和4年3月末）

進捗状況：水色＝目標達成 黄色＝概ね達成、または目標に近づいている 桃色＝目標に達成することが困難と思われる

環境指標	担当課	指標の内容	(2022)	(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)	補足事項
			R4 目標値	H28 現状	H29 達成状況	H30 達成状況	R1 達成状況	R2 達成状況	R3 達成状況	
基本方針1 暮らしやすさが実感できる環境をつくります										
水質に係る環境基準達成率	環境課	河川（環境基準の類型指定がある地点）におけるBODに関する環境基準を達成した測定地点の割合※BOD（生物化学的酸素要求量）	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	全ての測定地点で環境基準を満たした。今後も現状の監視体制を継続していく。
大気に係る環境基準達成率	環境課	二酸化硫黄（SO2）、二酸化窒素（NO2）、浮遊粒子状物質（SPM）、微小粒子状物質（PM2.5）に関する環境基準を達成した測定地点の割合	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	全ての測定地点で環境基準を満たした。今後も現状の監視体制を継続していく。
汚水処理人口普及率	上下水道 総務課	し尿・生活雑排水の処理人口（公共下水道＋農業集落排水＋合併処理浄化槽）／住民基本台帳登録人口	93.48% (H33)	88.80%	89.40%	89.88%	90.63%	90.92%	91.70%	磐南処理区と豊岡処理区の238戸、17.35haで新たに公共下水道の供用を開始した。また、認可区域外についても補助制度を活用する中で90件の合併処理浄化槽が設置された。今後も現行の補助制度等を紹介するなどして適正な汚水処理を普及・啓発していく。
基本方針2 豊かな自然環境を守ります										
市民一人当たりの都市公園等面積	都市整備課	都市公園等の市民一人当たりの確保量※都市公園等：都市公園、民間開発等により開設された公園、交流センター、学校等のグラウンド、市民農園等※目標値は「磐田市緑の基本計画」に準ずる	※21.27㎡ (H38)	15.52㎡	15.58㎡	15.59㎡	15.61㎡	15.67㎡	15.79㎡	都市公園の面積は、今之浦公園を拡張整備したことにより0.06㎡/人の増加となった。今後は、整備を進めている防潮堤事業の中で植樹による枯損木の復旧がされることから新たな緑の確保が期待できる。
市内の耕作放棄地面積	農林水産課	市内における耕作放棄地の面積※耕作放棄地：農作物が1年以上作付けされず、農家が今後数年の間に再び耕作する意志のない農地（田畑、果樹園）	93.0ha	98.33ha	84.8ha	99.0ha	99.4ha	92.1ha	85.4ha	当該年度は、営農者の努力により耕作放棄地面積が減少したものの、今後も同様の傾向が続くとは言い難い。今後は、再生が期待できる耕作放棄地に適切な補助制度を活用するなどして農地利用を推進する。また、山間部等の利用が難しい農地は、速やかに除外するなどして正確な現状把握に努める中で耕作放棄地対策に取り組んでいく。
バッコウトンボ定量調査発生数	環境課	バッコウトンボ個体数調査で確認された頭数※バッコウトンボ：環境省第4次レッドリストにおいて絶滅危惧ⅠA類に指定されており、自然環境保護のシンボルとして市の昆虫として選定されている	200頭以上	253頭	171頭	91頭	102頭	23頭	67頭	個体数調査で確認したバッコウトンボは、前年度から34頭増加し、67頭となったものの、目標の200頭以上に及ばない。一方、これまでの調査で確認できる個体数が当日の気温等の環境条件で大きく左右されることも分かってきた。今後は、個体数調査の判断基準を再検討することも含めて自然保護団体等と連携し、バッコウトンボの保全活動に努めていく。
基本方針3 自然・歴史文化とふれあう機会をつくります										
自然観察会等への参加人数	環境課	自然観察会や体験教室、環境保全啓発行事等への参加人数	700人	586人	778人	1,184人	915人	173人	236人	新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、止む無く一部の観察会等を中止したり、参加人数を制限したりしたため、参加者が著しく減少することとなった。コロナ禍は、未だ先が見えない厳しい状況にあるが、今後は、いたずらに企画の縮小を目指すことなく、コロナとの共生を視野に入れた観察会等を開催をするなどして、今後も目標とする700人の達成に向けた努力を継続する。
歴史文化とふれあう市の施策に「満足」している市民の割合	文化財課	普及啓発のための企画展等で実施するアンケート調査において、「満足」「良かった」等肯定的な回答の割合	90%以上	83.80%	92.40%	91.20%	96.30%	84.60%	90.90%	新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態が宣言されたことから企画展の実施や開催した講座の定員を制限したことなどから、参加者数が減少した。ただし、その代替えとしてYouTubeを活用した企画展の紹介や講座内容を録音したDVDの貸出などを行ったことで、歴史文化とふれあう機会を確保した。コロナ禍は、未だ先が見えない厳しい状況にあるが、適切な対応を取る中で、歴史文化とふれあう施策の実施により目標の達成を目指す。
文化財関係施設への入館者数	文化財課	旧見付学校・旧赤松家記念館・埋蔵文化財センター・竜洋郷土資料館・豊岡農村民俗資料館の入場者数の合計／年	48,500人 (H33)	41,010人	41,912人	37,636人	37,951人	25,251人	28,259人	新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響で目標値を大幅に下回ったと認識している。コロナ禍は、未だ先が見えない厳しい状況にあるが、状況に即した施設運営により、コロナ禍前の入館者数の確保に努めていく。ただし、目標値については、状況を踏まえた見直しも必要であると認識している。

環境指標	担当課	指標の内容	(2022)	(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)	補足事項
			R4 目標値	H28 現状	H29 達成状況	H30 達成状況	R1 達成状況	R2 達成状況	R3 達成状況	
基本方針4 3Rの取組みや環境にやさしい消費行動を推進します										
1人1日当たりごみ排出量	ごみ対策課	一般廃棄物総排出量/365日/人口(※資源集団回収量含まない)※一般廃棄物:家庭から排出されるごみと、事業活動に伴って発生するごみのうち産業廃棄物以外のごみ	685g/人・日(H33)	697g/人・日	703g/人・日	731g/人・日	726g/人・日	741g/人・日	716g/人・日	市民の皆さんの努力で前年度より25g/人日の減少となった。今後も様々な施策を考慮する中でごみ減量を目指す。
地場産物を使用する割合	学校給食課	学校給食における地場産物を使用する割合(使用している品目数/全体品目数)	20%(H35)	16.3%(H29)	16.30%	19.10%	19.40%	19.00%	20.20%	市内でとれた農産物を関係機関と連携して調達し、海老芋コロッケや市内産イチゴのジャムなどを給食の献立に取り入れている。また、単独調理場及び給食センターにおいて、農家から直接調達する「地産地消プロジェクト」にも取り組んでいる。
上水道有効率	上下水道工事課	有効水量(有収水量+無収水量)/総給水量※有収水量:料金の対象となった水量※無収水量:料金徴収の対象とならないが、有効に利用された水量(消火栓等)	88.10%	86.90%	86.40%	86.50%	85.90%	86.60%	86.60%	これまで老朽化した本管や給水鉛管の更新により漏水対策を進めてきたが、鉛管については概ね目途が立った。今後は、老朽本管の更新を更に進めるとともに、並行して区域を定めた漏水調査により地下に浸透する漏水の発見にも努めていく。
基本方針5 地球温暖化対策に取り組みます										
公共施設からの温室効果ガス削減率	環境課	市の事務及び事業に伴って排出される温室効果ガス排出量の削減率(対平成24年度比)※目標値は「磐田市地球温暖化実行計画(事務事業編)」に準じ令和元年度から、目標値は対平成25年度比に変更	4.7%(H30)16.0%(R5)	▲8.1%	▲2.4%	5.40%	▲14.5%	▲25.7%		エコアクション21に基づき、全職員が省エネルギーや省資源に配慮した活動に取り組み、事務事業で排出されるCO2の削減に努めた。
エコアクション21認証登録の継続	環境課	市における環境マネジメントシステム「エコアクション21」認証登録の継続※エコアクション21:環境省が策定したあらゆる事業者が効果的、効率的、継続的に環境に取り組むための仕組み	認証登録を継続	認証登録を継続	認証登録を継続	認証登録を継続	認証登録を継続	認証登録を継続	認証登録を継続	エコアクション21の審査を受験して「地方公共団体向けガイドラインに適合」の判定によりエコアクション21認定を更新した。
住宅用太陽光普及率	環境課	太陽光発電設備(10kw未満)導入件数/世帯数※静岡県は、「ふじのくに新エネルギー等導入倍増プラン」で住宅用太陽光普及率10%(2020)を目標値として掲げている	12.00%	8.30%	8.75%	9.20%	9.71%	10.10%	10.70%(2021年12月末時点)	住宅用太陽光発電設備を設置しようとする市民に1世帯2万円の奨励金を227件支給し、導入の促進を図った。
基本方針6 環境教育を推進します										
環境教育に取り組む学校の割合	小学校	地球温暖化防止に関することなど環境教育に取り組んでいる小学校の割合※対象:公立小学校	100%	100%	95.45%	100%	100%	100%	100%	全ての小学校で環境教育に取り組んできた。今後も関係部署が協力して内容を充実する中で、事業を継続していく。
学校給食における残菜量	学校給食課	小学校及び中学校における学校給食1回当たりの残菜量の合計※対象:公立小学校及び中学校	6kg/回	6.6kg/回	6.8kg/回	6.2kg/回	10.1kg/回	10.6kg/回	10.7kg/回	新型コロナウイルスの感染拡大による学級閉鎖を含む児童生徒の欠席者の増加により給食残渣が増加したと考えている。
協働による環境教育に取り組む園の割合	幼稚園 保育園 こども園	環境保全団体や地域と協働で環境教育に取り組んでいる保育園、幼稚園、こども園の割合※対象:公立保育園、幼稚園、こども園	100%	92.90%	92.85%	100%	100%	100%	100%	全ての公立幼稚園・保育園・こども園で協働による環境教育に取り組んでいる。今後も引き続き関係部署が協力して内容を充実する中で、事業を継続していく。

進捗状況 : 水色=目標達成 黄色=概ね達成、または目標に近づいている 桃色=目標に達成することが困難と思われる